

日本語教育方法論Ⅰ

2単位 2年(前期)

大石 寧子・教授/国際センター

【授業目的】日本語教育に限らず、広く教育の方法について理解し、これからの教育活動の基礎を習得する。

【授業概要】日本語教育の前提となる、教育及び学習に焦点をあて、私たちが受けてきた教育活動を振り返り、これからの教育-学習活動を再構築し実践していく方法を体得する。〔継

【キーワード】生涯学習、自律学習、心とからだのコミュニケーション、意識と無意識、教えると学ぶ

【関連科目】『日本語教育演習(その2)』(0.5)

【履修上の注意】講義以外に集中講義形式で外部講師による「こころをからだの研修」を実施するこれも必ず受講すること。

【到達目標】

1. 日本語教育や日本語学習者の概観を知るとともに、言語はいかに習得されるか、学習者がどのようなものを求めているのかを理解できるようにする。
2. 自分を見つめ、また他者との関わりから教える・学ぶを考える。

【授業計画】

1. 自己紹介とガイダンス
2. 自分を知る1 こころとからだ
3. 自分を知る2 こころとからだ
4. 相手を知る1 コミュニケーション
5. 相手を知る2 コミュニケーション
6. 教える1 ことば
7. 教える2 知識
8. 学ぶ1 ことば
9. 学ぶ2 知識
10. 教えることと学ぶこと 体験学習とは
11. こころとからだのレッスン1(集中講義)
12. こころとからだのレッスン2(集中講義)
13. こころとからだのレッスン3(集中講義)
14. こころとからだのレッスン4(集中講義)
15. 自己成長と教育
16. まとめにかえて

【成績評価】出席を重視します。毎回振り返りを記入または発言を記録し、評価とします。テストは行わない。

【再試験】無

【教科書】授業内で提示する。

【参考書】竹内敏晴「からだとことばのレッスン」 野口三千三体操 ニューカウ
ンセリング

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219298>

【連絡先】

⇒ 大石 (088-656-9875, oishi@isc.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー:
金曜日 9:30~ 12:00 但し事前の連絡があれば他の日時でも対応します。)

【備考】平成 24 年度開講